第59号
発行人 栃尾市
昭和36年(1961)10月10日発行
新潟県栃尾市 電話(代表)2151番

広報とちお

昭和32年2月20日第三種郵便物認可 毎月10日発行(定価一部2円)

栃尾市の人口
(9月末日現在)
世帯数 7.416
人口 38.162人
男 18.437人
女 19.725人

今月の市税
◁ 市県民税 第3期分
◁ 国民健康保険税10月分
納期 10月31日

基本選挙人名簿の縦覧

名簿登載の確認は忘れずに

縦覧期間 11月5日～19日
(この名簿は十二月二十日から使用されます)

昭和三十六年九月十五日現在における基本選挙人名簿は、十月三十一日に調製を完了いたします。

この基本選挙人名簿は、みなさまご承知のとおり、昭和三十六年十二月二十日から昭和三十七年十二月十九日までの一年間、公職選挙法によるあらゆる選挙の基本となる名簿であります。

名簿は、選挙管理委員会が職権により調査し調製するものです。さる九月中旬皆さんのお手もとへ「選挙人名簿登録資格調査票」をお渡しして確認していただいたわけでありますが、まだ調査が完全だとは云いきれません。

そこで確実に皆さんが一人も洩れなく名簿に登載されているかどうかはわからないわけであります。それを確める機会が縦覧期間です。

この縦覧期間は、法律で定められたもので、みなさんから選挙人名簿の間違いに対して選挙管理委員会に注意していただく、期間です。

民主主義は選挙による議会政治が基礎となっています。選挙は国民が国政に参画できるただ一つの機会であるといえましょう。国民一人一人の意見が正しく国政に反映し国政が本当に国民のための政治になるためには、皆さんがただ与えられただ一つの機会(選挙権の行使)を有効に使うことです。しかし、そのただ一つの機会も、名簿に登載されていなければできないわけであり、この縦覧期間内に必ず市役所で名簿をごらんになってください。

郡合で市役所へおいでになれない方は、区長さんから確めてもらうなり、直接市役所に電話等で照会してください。

ねずみ駆除運動を実施

期間 10月10日～12月10日

県、市、住よい郷土建設協議会、県農作物病害虫防除協議会が主体となって十月十日から十二月十日まで県下いっせいにねずみ駆除運動を実施することになりました。

ねずみは、農作物の被害や貯蔵食糧の食害など年間二十億円以上の被害があるといわれております。また、おそろしい伝染病の病源菌を媒介しイエダニをまき散らすなど、生活に身近な存在であります。

この際、徹底した駆除を行ない住みよい郷土にしたいものです。

なお、ねずみ駆除の意欲を盛り上げるため県では「ねずみ駆除券」と「ねずみくじ」を発行し二重当り制といたします。

①ねずみ駆除券
いままで薬剤駆除の場合は死その発見が非常に困難でしたので、今回は、各薬局より殺そ剤を購入する際、殺そ剤(十五～五十グラム)一個について一枚の抽せん付ねずみ駆除券を交付します。

②ねずみくじ
捕殺されたねずみ一匹に対し宝くじ一枚を引き換えます。

なお、ねずみはシッポを切って区長さんに提出してください。

公営住宅入居者募集

市内吉水に建築中の公営住宅の入居申込者を次のとおり募集いたします。希望者は厚生課へ申し込みください。

①申込期間
十月二十日から十月三十一日まで。申込書は厚生課にあります。

②入居資格
(イ)市内に住所を有し、独立の生計を営むもので家賃の支払能力を有していること
(ロ)同居又は別居している親族があり、現在住宅に困っているもの

③入居者のせん衡方法
申込者についていろいろ調査し市長が決定する

④その他
詳細は市役所厚生課へお問い合せください。

災害写真お持ちのかたへお願い

八月の集中豪雨による水害状況、九月の第二室戸台風による被害状況を市の記録として保存したいので、各災害の写真のフイルムをお持ちのかたはお貸しくださるようお願いします。焼付が終ればすぐお返しします。

お持ちのかたは市総務係統計係へ送付ください。またはご連絡くださるよう併せてお願いいたします。なお、ご協力くださったかたには薄謝を呈します。(総務課)

インフルエンザは11月以降に実施

◇インフルエンザ予防接種を十月中に実施の予定で、希望者を取りまとめておりましたが、厚生省で液の検定が終了しないため、十一月以降に実施することになりました。実施日時が決まりしだいお知らせいたします。(保健衛生課)

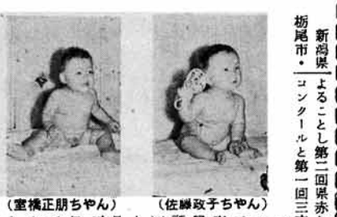
ありがとうございました

風害関係寄付

▽県教職員組合から 一千円
▽無名者 (有浅織物有限会社 衣類七点)

県赤ちゃんコンクール 三才児コンクール 栃尾地区予選

優良赤ちゃん決まる


(室橋正朋ちゃん)　(佐藤政子ちゃん)

新潟県赤ちゃんコンクールの対象者は、昭和三十五年九月一日から栃尾市・栃尾地区保健所管内(栃尾市、東谷、栃堀)が、さる九月十五日栃尾保健所△男子の部
①室橋正朋(字さん長男 大町)身長七五、四センチ【(十)二、(十)三、四】体重一〇、八キロ【(十)二、二】胸囲四九センチ【(十)四、四】
②赤ちゃんコンクール
この県下で実施されました。
①佐藤政子(字さん長男 大人塩川)身長六八、八センチ【(十)二、〇】体重九、五二キロ【(十)二、〇二】胸囲四七、五センチ【(十)四、三】
②葛綿浸子(慎市さん二女 大野原)③内山敬子(与一郎さん長女 大川戸)④小林宰子(雷司さん長女 比礼)⑤松沢宏子(保さん二女 本所)⑥勝沼百合子(利一さん長男 柳堀)⑦上村和幸(茂雄さん長男 天下島)⑧酒井一成(仁さん長男 蒲谷)⑨平沢孝史(正司さん長男 半蔵金)
△女子の部
①佐藤政子(茂一さん長女 二)②渡地武光(祥一さん長女 半蔵金)身長一〇三、七キロ【(十)四、二】胸囲五六、五センチ【(十)三、三】体重一〇、八キロ【(十)三、三】胸囲五七センチ【(十)五、一】
△女子の部
①石丸美保子(三四郎さん長女 半蔵金)身長一〇三、三センチ【(十)六】体重一七、九キロ【(十)三、三】胸囲六七センチ【(十)五、一】
②小林宰子(雷司さん長女 比礼)③斉藤春美(大典さん二女 本所)④佐藤信(修三さん四男 山桑谷)身長一〇〇、八センチ【(十)四、二】体重一七、五キロ【(十)三、三】胸囲五六、五センチ【(十)三、三】②渡地武光(祥一さん長女 半蔵金)③三才児コンクール
△男子の部
①酒井一成(仁さん長男 蒲谷)②上村和幸(茂雄さん長男 柳堀)③疎佐繁夫(繁)④小林宰子(雷司さん長男 比礼)⑤斉藤春美(大典さん二女 本所)⑥勝沼百合子(利一さん長男 柳堀)⑦佐藤政子(茂一さん長女 二)

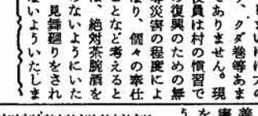
農家に嫁がない娘の一人は是非農家へ

農家に嫁がない

農家の娘は働き手の農家のものですから、婦人会や婦人学級の場で研究し、話し合いをしていますが、簡単に一言見舞の挨拶が済むかすまないうちに「マア一杯」と茶々腕を出され、なんなんと注がれますが、一戸二戸と廻る間につい飲過ぎ、しまいには大の字に伸びたり、グダ巻等あまりよい風態でありません。現場の部落や役員は村の惜習で一日か二日の復興のための無料奉仕作業等災害の程度により大なり小なり、個々の寒仕負担があることなど考えると災害見舞には、絶対茶腕酒を振舞うことのないようにいたしましょう。見舞廻りをする方も飲まないよういたしましょう。頻焼を免れたから目出たい等と火事に水は付物と大きな茶腕酒、二本乃至五六本の無駄酒、意味のない不合理な行為は廃止いたしましょう。屋火事の時なぜ一日中飲み歩く人があるとか、止めましょう。新生活運動は合理的生活態度から出発しましょう。

このような接待の不合理改善のため、今年のような大災害の数多い被害の年に、全市を挙げて改善に努力しましょう。

実習により学習を生かそう


(青年学級調理実習風景)

宅地の生産約整備

九月十六日夜の第二室戸台風の被害中もっとも大きな原因の一つに宅地内の防風用樹木、特に唯一の財産に数えられた巨木の倒木による家屋の圧倒による被害が目立つた数十年に一度しかない数百年に一度の台風であるからと言いばそれまでですが、今後宅地の防風林については研究の余地が十分あると存じます。特にこの際地の生産的整備について考える要があるのではないかろうか、防風のためにしても他の樹種を選んではどうか一つ一つ研究しよう訪問集会のテーマにしては、身近かな宅地の生産的な緑化を提唱いたします。考えようでどんなにもなりますから今回の台風を契機に宅地の改良をいたしましょう。

青年学級や婦人学級の討議学習のおすすめ

青年学級や婦人学級の学習とうたいやすく普通学の補習や常識講座など、講義学習に明けくれして満足感を味わっている人がいます。一歩前進して討議学習を主とし、併せて交歓学習をやりませんか、リーダーは考えて見て下さい意見交換や主題の選び方など研究討論の技術を身につけると共に自分の考えを発表する方法を身につけることにもなり、又書籍性も身につけることになります。

話の仕方、冒頭の意味や使い方、人の話を上手に聞く能力などから司会の技術がしらずしらずの間に身につくのです。

半分は討議学習にするよう指導に当る方は計画して下さい。

討議は討論と違いますから混同しないようにして下さい。

討議と言うとすぐ理くつを並べたり、議論することだと感違いする人があるが、話し合いの中には意見の異る場合は当然あり得るのですが、司会者を通じて自己の考えを発表するのでこれを一人の者が長談義できないことになり、大ぜいの者が代りがわり話し合うので、自分の主張と他人の考え方の違いなども飲みこめるようになります。

討議の方法、主題の選び方などについては、公民館職員を利用して下さい。

青年学級の交歓学習会

栃尾、荷頃青年学級ンを併せ実施し、人間関係をでは月未頃栃堀小学校を会場にして交歓学習を実施することになりました。皆さんの地区でも近隣の学級と交歓学習をやりませんか、リーダーは考えて見て下さい。写真はある日の交換会

市議会定例会 追加更正予算など可決

第八回

第八回市議会定例会がさる九月二十八日市役所に招集され、会期を十月七日までの十日間ときめ、本会議三日間と休会中に各常任委員会を開き十月七日閉会しました。

今回提出された議案は、市長提出議案十八件、議員提出議案一件、陳情、五件であり、主な議案は、一般会計予算追加更正と災害による被害者に対する市税減免の条例制定などが主なものであり、それぞれ次のとおり可決されました。

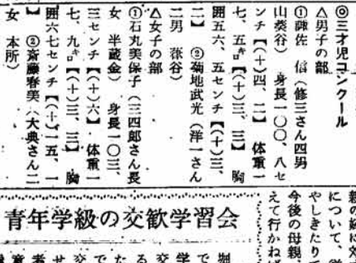
▽専決処分報告(昭和三十六年度一般会計歳出更正予算)＝承認 ▽南中学校校舎新築事業費起債について＝原案可決 ▽厚生会館前橋梁新設工事の請負契約について＝原案可決 ▽昭和三十六年度ガス事業特別会計歳入歳出追加更正予算について(第五号)＝原案可決 ▽昭和三十六年度一般会計歳入歳出追加更正予算について(第一号)＝原案可決 ▽昭和三十六年度上水道特別会計歳入歳出追加更正予算について(第一号)＝原案可決 ▽土地改良事業の施行について(第一号)＝原案可決 ▽ガス事業費起債金額の変更について(第一号)＝原案可決 ▽水道事業費起債金額の変更について＝原案可決 ▽上水道工事請負人名義の変更について＝原案可決 ▽上水道工事請負人名義の変更について＝原案可決 ▽上水道工事請負人名義の変更について＝原案可決 ▽助役選任に関する同意を求めることについて＝同意 ▽予算外義務負担について＝原案可決 ▽上水道工事請負人名義の変更について＝原案可決 ▽ガス供給条例制定について＝原案可決

助役に渡辺芳夫氏

総務課長事務も取扱う

本市の牧野助役は、昭和三十六年九月三十日病気により辞職されましたので、市長は現総務課長の渡辺芳夫氏を助役に選任、さる二日市議会定例会で同氏を助役に選任し、総務課長事務も取扱うことに決定いたしました。

渡辺芳夫
明治四十一年二月二十八日生
住所 栃尾市大字北荷頃一九〇番地の四
▽昭和二十九年六月一日市制施行により総務課長
▽昭和三十一年六月一日産業課長 ▽昭和三十三年四月一日総務課長


ジープ型乗用車購入

このほど乗用車一台購入しました。これはトヨタジープが古くなつて使用に堪えなくなつたので購入したものであります。

三菱ウイリス、ワゴン(ジープ型)七十六馬力、八人乗りで価格は百三十万円であります。

教育委員に宮原正次氏

市教育委員若杉利兵工氏は昭和三十六年九月三十日任期満了となつたため、市長は、

宮原正次
大正二年十一月二十日生
住所 栃尾市大字栃尾町甲五五番地

国民年金問答

軍人恩給と国民年金との関係は…

問 現在、国民年金に加入して保険料を納めておられる方で、恩給法の一部改正により、新たに恩給を受けられる旧軍人のかたが大勢おられると思います。

軍人恩給と国民年金との関係はどうなるのでしょうか。

答 旧軍人恩給を受けられるようになつた方は、この十月一日からは、国民年金の強制加入被保険者とならなくなり、任意加入の被保険者となります。したがつて、十月一日まで強制加入年数に応じて一年につき九百円の追加更正予算額は、一億三千六百万円となる。

「答」旧軍人恩給を受けられるようになつた方は、この十月一日からは、国民年金の強制加入被保険者とならなくなり、任意加入の被保険者となります。したがつて、十月一日まで強制加入年数に応じて一年につき九百円の追加更正予算額は、一億三千六百万円となる。

その後任として宮原正次氏を適任、さる二日市議会定例会で上程、議会の同意を得て決定いたしました。

国民年金問答

軍人恩給と国民年金との関係は…

問 現在、国民年金に加入して保険料を納めておられる方で、恩給法の一部改正により、新たに恩給を受けられる旧軍人のかたが大勢おられると思います。

軍人恩給と国民年金との関係はどうなるのでしょうか。

答 旧軍人恩給を受けられるようになつた方は、この十月一日からは、国民年金の強制加入被保険者とならなくなり、任意加入の被保険者となります。したがつて、十月一日まで強制加入年数に応じて一年につき九百円の追加更正予算額は、一億三千六百万円となる。

その後任として宮原正次氏を適任、さる二日市議会定例会で上程、議会の同意を得て決定いたしました。

一般会計予算を追加更正

現計予算 三億三千六百万円余となる

一般会計歳入歳出予算追加更正(第五号)が、さる七日原案可決されました。

今回の追加更正予算は、災害復旧事業に重点をおき、国庫負担事業に重点をおき、部新規事業も計画されておりますが、財政の現状により極力冗費を省き、当面緊急と認められるものに限りました。

追加更正予算額は、七千八百七十一万三千二百円の増額であり、現計予算は、三億三千六百六十五万五千三百円となりました。

追加更正のあらまし次のとおりであります。

歳出
①市所費＝四百二十万九千七百円の追加
②消防費＝六十七万一千円の追加
③社会福祉費＝十二万三千二百円の追加
④社会及び労働施設費＝百二十五万四千五百円の追加(主なものは、災害救助費百万円)
⑤農業経済費＝農林振興費二百二万三千円の減額(主なものは林道池之俣線水害による工事施行中止のための減額三百五十五万円の減額など)
⑥教育費＝教育委員会費が二万千円、公民館費が六万円、災害復旧費三百七十八万二千円の追加
⑦保健衛生費＝二百六十九万九千百円の追加
⑧国庫支出金＝二千九百二十四万六千円の追加(主なものは災害土木費負担金千百万円)
⑨諸支出金＝二十六万二千四百円の減額
⑩寄附金＝九万五千円の追加
⑪繰越金＝四百二十一万一千六百円の追加
⑫雑収入＝十七万三千円追加
⑬市債＝千三百二十万円追加
⑭繰入金＝四百万円の追加

歳入
①市税＝千五百十万円の追加(これは普通税増収見込分)
②地方交付税＝八百万円の追加(増収見込分)
④分担金及び負担金＝四百九十五万円の追加
⑤国庫支出金＝二千九百二十四万六千円の追加(主なものは災害土木費負担金千百万円)
⑥県支出金＝二十六万二千四百円の減額
⑦繰越金＝四百二十一万一千六百円の追加
⑧雑収入＝十七万三千円追加
⑨市債＝千三百二十万円追加
⑩繰入金＝四百万円の追加

ありがとうございました

水害関係寄付

▽天皇、皇后両陛下、衆議院議員一同、長野県知事、山梨県知事、神奈川県知事、富山県知事、岐阜県知事、電源開発株式会社、明星セメント株式会社、昭和電工株式会社、日本石灰石開発株式会社(県災害対策本部へ贈られた見舞金のうち栃尾市へ配分されたもの)二万円
▽大野市郎さんから 三万円
▽お年玉年賀業書見舞品(県災害対策本部長) 毛布外
▽上谷内鯉人会から 三十七点
▽金町婦人会から 五千円
▽清水正男(東町)さんから 衣類二十五点
▽大橋シン子(栃高二年)さんから 斎藤乃利子 一千円
▽大橋シン子(栃高二年)さんから 一千円